

新設中学校開校に係る懇談会

令和4年5月23日 19:00～ 美里中学校体育館

■出席者 保護者13人 学校関係者2人
東中教育長 曲里教育次長 ほか事務局3人

■教育長あいさつ

令和4年1月18日の会で、令和4年に新設校を開校する予定を、少なくとも今の中学校1年生が中学校を卒業するまでの間延期し、計画については新たに今年の6月に原案をお示しするという事を報告させていただきました。

その時に、皆様方のご意見も頂戴し、また、その後6年生の保護者会の中でもご意見をいただきました。

その中にこれからのことについては、全体会ではなく、少人数の部会に分かれて開催してほしい。また、こども園の保護者の意見も聞いてあげてほしいという声もありました。それで学年始めに、学級懇談会に出席させてもらい意見交換させていただく予定でしたが、懇談会が中止になるなど機会が持てなかったため、夜に懇談会のみ4回に分けて開催させていただくことになりました。

今日皆様方から色々ご意見を伺い6月に原案をお示ししたいと考えていますので、どうぞ色々なご意見をいただきますようお願いいたします。

なお、1月の会で検討することになっていた野上中学校に指定校変更した場合の通学支援バスの件ですが、1便ですが朝練に間に合うように、大十バスに委託し、運行しているところです。

指定校変更については、新中学1年生3名、在校生4名の計7名が申請し、野上中学校に通っています。

5月18日、20日の懇談会で出た意見は、現在の野上中学校の施設のこと、部活動はどうなるのかということ、今年度運行開始した通学支援バスのこと、スクールバスについて、児童生徒の交流活動をもっと積極的にやってほしい、図書館や文化教育施設の建設について、など様々のご意見をいただきました。できること、できないことがありますので、精査しながら努力していきたいと考えています。

以上、報告になります。本日も忌憚のないご意見よろしく願います。

■質疑応答

○令和4年度に新中学校開校というのは、準備期間が短かったと思う。今度新設について、6月に教育委員会の原案を出すということだが、議会に提案するのはいつになるのか。

A：大まかな原案は6月下旬になるかと思います。また、具体的な議案は9月以降になる予定です。

○5月20日の懇談会で、制服や部活動などは変更しないと説明されたと聞いているが、どうなのか。

A：制服や体操服、カバンなど具体的な内容は、部会をもって話し合いながら決めていく。いろいろな意見を集約して折り合いをつけていく。

○野上中学校の生徒の関心が低いのではないか。

A：具体的なことを考える段階では関心は高まると考えている。校章

のデザイン、校歌、PTA組織など、考えるプロセスを経ることが大切で、子どもたちの意見も反映できるように進めていく。

○5年後には統合しても生徒数が少なくなるのであれば、美里中学校を残してほしいという気持ちが強い。

A：入学見込み数は、令和7年度が45名、令和8年度が38名、令和9年度が46名、令和10年度が32名、令和11年度が40名、12年度が33名で、その後は減少していきます。

○前回、美里中学校を卒業した子どもが、新しい環境に悩んでいた時、母校の先生方に力になってもらって乗り越えたという話があった。野上中学校の卒業生が学校に来ることはあるのか。

A：年に5回ぐらい見かける。2・3年すると見かけなくなる。

○神野保育所は耐震工事をしたが、結果的にこども園を新設した。せっかく新設するのだから、校舎を新築するという夢のある構想を先にすすめたらどうか。野上地区の保護者に関心をもってもらえる術を考えて、手立てが必要である。統合をチャンスに大規模なプランを立ててほしい。給食費無償で年間6～700万円かかるのであれば、それを止めれば新築できるのではないか。

A：できるかどうか、即答できません。関心は具体的な取組が始まれば高まると思います。

○少ない人数で話し合うために、学級懇談会へ教育委員会が入る形を予定していたが、コロナ感染予防対策のためにできなかった。6月の

授業参観の後など、学年単位での懇談会を再度計画するつもりはないか。

A：学校にも計画があるので、セットで実施するのはむしろかしいのではないか。

○私は統合には賛成で、粛々と進めて行ってほしい。令和7年度には確実に統合してほしい。先送りになっているが、もっと早くやってほしかった。

○上の子が美里中学校で卒業できてよかった。中1の下の子は美里中学校を選んだ。次の世代にとって魅力ある学校づくりについて、教育委員会のビジョンはどうなのかな。新設校をつくることには賛成です。町内にある高校のように、プロの講師を招くなど、そこでしかできないことをしていけば、他の地域からも通いたいという生徒は多くなるのではないか。

A：具体的なことは学校の中で決めていくことになる。特色のある教育課程の中身を考えていきたい。

○小学校6年生の時にアンケートがあったが、その結果の返答は知られることがなく、中学校3年生の時に統合するという話が出た。子どもなりに精神的に悩むことがあった。

○統合ありきだと思っていたが、反対の人もある。今の段階で、何の理由で統合するのか。無視して統合になるのか。

○大阪府から移住してきた。ある程度の人数の中で学ぶことは必要なのことかもしれない。当時毛原小学校に子どもは通っていたが、先生

から「大きな学校ではそんなことではやっていけないよ」と注意を受けることがあった。小規模であればのびのびとさせてもらえるかと期待していたが残念だった。ゆくゆく人数が減っていく中で新設するのであれば、少人数の良さをどれだけ活かせるかという地方のこれからの教育を考えてほしい。

○少ない人数の中で楽しくやれば良いと思っている。自然な形での統合であれば、先送りも有りではないかと思う。

A：魅力ある学校を目指したいと考えています。

○6月末に全体に公表される中身はどんなものなのか。

A：統合の時期、それに向けた動きです。

○6月末では公表されない内容についての意見は、どこで聞いてもらえるのか。

A：6月末の会の際にも意見をお伺いします。

○統合に反対されている方は、一度統合した場合のメリットを考えてみたらどうでしょうか。私も統合しない場合のメリットを考えてみたいと思います。

○自分の子ども（中学1年）は、統合を泣くほど嫌がった。だから反対した。私自身は絶対に統合反対ということではない。

終了 20：30